令和2年度　江戸川区立大杉東小学校　学校関係者評価　報告書

学校教育目標	よりよい目標を実現する子 ☆考える子　やさしい子　やりぬく子 ☆は本年度の重点目標	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	**・保護者、地域と共に教育活動を進める学校** **・勉強をする児童　友達と協力できる児童　丈夫な体と心を持つ児童** **・学習が充実できる教師　・児童理解に優れ生活指導ができる教師　・保護者、地域に信頼される**
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞・児童の学習規範、生活規範が確立してきた。　・特別支援教育の充実があり配慮を要する児童への指導が充実した。また、特別支援教室拠点校の役割が果たせた。 ＜課題＞・児童の学力の定着という継続した課題に対する成果が上がらなかった。・授業の充実、家庭学習の定着、落ち着いた学校生活、基本的な生活習慣の確立を学校全体として、取り組むことで、学力の定着と教育活動の充実に結びつけていくことが継続した課題となる。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	各教科の連携プログラムを実施検証した授業公開年間1回松江スタンダードを徹底させた、生活指導を行う。通年年2回の連絡会実施	・教員連携プログラム理解85%。 ・学力調査都平均－5ポイント以内。	B	B	小中連携プログラムの重点を意識した提案授業をコロナ関係でできなかった。学力調査も中止のため評価できなかった。	C	小中連携を控えたことはコロナ感染防止の観点からやむをえない。	全教職員が小中連携プログラムを意識した授業を行っていく。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	学習にデジタル教科書を活用する。WEB会議、授業で校内研修の成果を生かしICT活用した授業実施率を80%以上にす	・授業のデジタル教科書活用80%以上。 ・年間3回のICT活用研修を行う。	A	B	9割の教員がICTを活用した授業を実施。さらに 100%を目指す。WEB会議は実施した。	A	さらに充実した授業を期待する。ICT活用を推進してほしい。	ICT活用率、90%以上を目指す。 児童用パソコンの保管、活用の
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	巡回指導に関する研修会を1，2学期に1回ずつ実施する。	・研修を2回実施する。エンカレッジルーム活用の強化を図る。	B	B	充実した研修ができた。エンカレッジルームの活用の充実までには至っていない。	B	配慮を要する児童理解については更なる充実を図ってほしい。	来年度もよい研修をして、スキルアップを図る。不登校対策を充実させる。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	学習規範を身に付ける。大杉東5の学習規範重点5つを全学級で定着させる。補習実施率は100%にする。	・児童自己評価「学習が絵理解できた」90%以上。 ・都学力調査平均より－5ポイント以内	A	B	ベーシックドリル診断テストは3ポイントは上昇。学習理解に関する児童の自己評価は達成した	A	学習は先生が頑張ってくれている。児童の学力向上への取組は継続してほしい。	全国平均と学校平均を同じにできるよう、日常の授業の充実、補習内容の改善と充実を図る。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 ・読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な学びの充実 ・学校図書館を使った授業の充実	読書科の時間に年間2回本を活用した探究的な学習を展開する。	・本を使った探究学習2回実施して発表する。図書館の整備を積極的に行う。	B	B	図書館の整備は進んだ。2回の探究活動がコロナ感染防止による休校並びに図書館の使用制限もあったが、年間計画に沿って、系統的な指導は行えた。	B	来年度、図書館司書を活用した探求型学習に活用することを期待している。	図書館での調べ物がさらにやりやすい環境を作る。年間2回の調べ学習を実施する。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	体育的活動を利用した外での運動遊びを年間を通して実施する。竹馬活動を工夫して実施する。	・体育学習が楽しい児童を90%以上。 ・体育的な活動を工夫する。	A	B	竹馬活動、長縄、短縄、マラソン週間など年間を通して、運動をする機会を設けた。コロナ感染防止による運動の制限があり十分実施できな	B	来年度は今年度参観できなかった地域の運動会や祭りなどに参加するとよい。	ボールなどを充実し校舎改築のために校庭が狭くなる中、運動を工夫し体力を強化していく。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	異文化理解、共生社会の創造のため、各学年年2回の体験活動の充実を図る。	・体験型学習各学年で2回実施する。	B	B	車椅子バスケットボールやパラ卓球、落語の出前授業などを予定したがコロナ感染防止のため講師の招聘ができなかった。	B	今年度予定したことはコロナ感染の様子をみて来年度実施する。	福祉、障害者理解、国際理解教育、日本文化の体験等、レガシーを残せる授業を来年度は
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	3年生以上で担任がT1、ALTを活用した授業を実施する。	・担任が授業100%T1で授業を実施する。	B	C	担任の授業は80%にとどまっている。	B	これからは担任の先生も積極的に授業をしてほしい。	必要に応じて外国語の校内研修を実施する。
	健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	5つの基本的な生活習慣の確立を保護者と学校が連携して取り組む。	・大杉東5の生活指導に関する5つの取組が、全学級で90%以上を目指す。	B	B	5項目のうち3項目は達成できている。さらに5項目達成を目指す。	B	挨拶には特に力を入れて欲しい。	継続して重点項目を設定し、評価しながら改善を図っていく。